

松阪地区地域審議会会長 様

松阪市長 山中 光茂

「合併後 10 年間の検証と今後のまちづくりについて」（諮問）

平成 17 年 1 月 1 日に 1 市 4 町が合併し「新松阪市」が誕生し 10 年を迎える今期の地域審議会において、これまでの 10 年間を振り返るとともに次の世代に向けてのまちづくりについて、貴地域審議会においてご審議いただきたく諮問いたします。

【諮問理由】

平成 17 年 1 月 1 日に 1 市 4 町が合併し「新松阪市」が誕生しました。合併してから今日にいたるまで、合併直後の統一期あるいは模索期という新しい松阪市を形づくる期間を経て現在の状況に至っているところです。

合併前に新しい市になって将来どのようなまちづくりを目指していくのか、その方向性を定める新市建設計画を策定し、また、合併後、新市としての「総合計画」を策定し将来像の実現に向けて様々な施策を展開しながら市政運営を行ってきました。その中で、新市としての一体感の醸成を基軸としつつも、合併したからこそ「松阪のさまざまな幅広い魅力が生まれた」と言われるように、「地域らしさ」を発揮したまちづくりに取り組んできました。

このような経緯を踏まえつつ、松阪市の現状について、市民の視点から見つめ直す時期を迎えていると認識しています。現在の結果が合併を唯一の原因として成り立ったのか否かという視点ももちろんありますが、合併後の 10 年間を振り返って検証をいただくことそれ自体は非常に貴重かつ有意義なことであると考えます。

合併後の 10 年間を振り返るとともに、これからの松阪市が見据えていくべき将来の課題や今後のまちづくりがいかにあるべきかという視点を踏まえ、今期の地域審議会の答申が合併して 10 年を経過した松阪市に、また、20 年、30 年先、未来の松阪市の幸せな市民生活につながっていくことを切に願っているところであり、その方向性についてご意見賜りたく諮問する次第でございます。